3．資金の期末残高と貸借対照表に記載されている科目の金額との関係
（平成26年３月31日現在）
現金及び預金　2,579,732千円
定期預金　95,300千円
資金期末残高　2,484,432千円

4．重要な非資金取引の内容
寄附受けによる資産増加　67,378千円
（内訳：固定資産67,378千円）

利益の処分に関する書類（案）　（単位：千円）

Ⅰ　当期未処分利益			31,837
当期総利益		31,837	
前期繰越欠損金	—		
Ⅱ　利益処分額			
積立金		31,837	
国立大学法人法第35条において準用する独立行政法人通則法第44条第３項により文部科学大臣の承認を受けようとする額			
教育研究環境整備・組織運営改善積立金	—		
	—	31,837	31,837

国立大学法人等業務実施コスト計算書
（平成25年４月１日～平成26年３月31日）　（単位：千円）

Ⅰ　業務費用			
⑴　損益計算書上の費用			
業務費	7,303,696		
一般管理費	352,203		
財務費用	5,775		
雑損	9,191		
臨時損失	2,608	7,673,475	
⑵　（控除）自己収入等			
授業料収益	△ 2,183,247		
入学料収益	△ 313,521		
検定料収益	△ 77,218		
受託研究等収益	△ 138,236		
受託事業等収益	△ 85,171		
寄附金収益	△ 131,647		
資産見返運営費交付金等戻入	△ 97,650		
資産見返寄附金戻入	△ 30,774		
財務収益	△ 192		
財産貸付料収益	△ 47,603		
講習料収益	△ 33,533		
手数料収益	△ 11,194		
物品等売払収益	△ 1,019		
版権料・特許料収益	△ 2,627		
雑入	△ 9,404		
臨時利益	△ 144,630	△ 3,307,675	
業務費用合計			4,365,799
Ⅱ　損益外減価償却相当額			494,257
Ⅲ　損益外減損損失相当額			—
Ⅳ　損益外利息費用相当額			—
Ⅴ　損益外除売却差額相当額			0
Ⅵ　引当外賞与増加見積額			11,802
Ⅶ　引当外退職給付増加見積額			△ 412,155
Ⅷ　機会費用			
国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	77		
政府出資の機会費用	169,031		
無利子又は通常よりも有利な条件による融資取引の機会費用	—		169,109
Ⅸ　（控除）国庫納付額			—
Ⅹ　国立大学法人等業務実施コスト			4,628,814

注１．国又は地方公共団体の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用は、通常の貸借料を貸与者に聴取して算出しました。
２．政府出資等の機会費用計算に使用した利率は、0.64％です。

【重要な会計方針】
１．運営費交付金収益及び授業料収益の計上基準
原則として、期間進行基準を採用しております。
なお、退職一時金については費用進行基準を、また「特別経費」、「特殊要因経費」及び「補正予算」に充当される運営費交付金の一部については、文部科学省の指定に従い業務達成基準あるいは費用進行基準を採用しております。
また、国立大学法人福島大学業務達成基準取扱要項に基づき学長が特に必要と認めた事業については、業務達成基準を採用しております。
２．減価償却の会計処理方法
⑴　有形固定資産
定額法を採用しております。
耐用年数については、法人税法上の耐用年数を基準としていますが、主な資産の耐用年数は以下のとおりであります。
建物　２～50年
構築物　２～60年
工具器具備品　２～15年
車両運搬具　４～７年